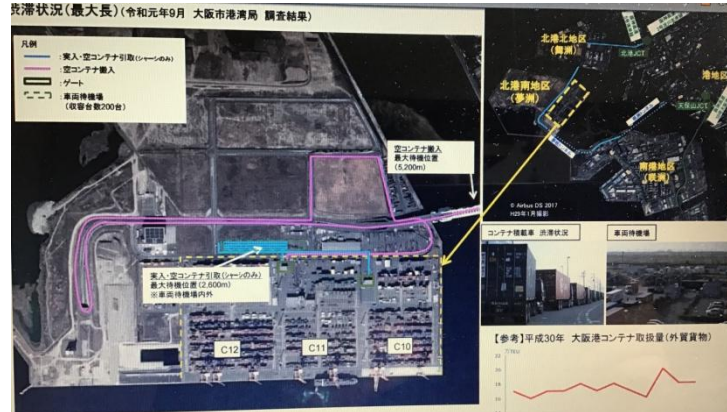


## 「万博会場予定地」 夢洲コンテナ車両の渋滞

写真は「国際物流チーム 第31回幹事会」資料(国土交通省近畿整備局記者発表)。

大阪万博のゆくえも作用する夢洲の大渋滞について、大阪港夢洲地区における物流に関するアンケート結果から見ていこう。

アンケートの対象は国際物流戦略チーム構成員のうち、民間企業等44名。アンケート実施日は2019年7月29日。



### 〔現状の課題〕

- 現状の物流に関する課題は、「ターミナルゲート前の渋滞」や「ターミナルの混雑」が約2割、「トラックドライバー等の人出不足」が約3割を占める。
- ゲート待ちのコンテナ車両の待機列が幹線道路(夢咲トンネル～夢舞大橋を結ぶ道路)まで伸びることがある。
- 本船入港日のコンテナ搬出入車両の渋滞が慢性化(特に午後が発生)し、数時間の待ち時間は当たり前ようになっており、ドレージの輸送効率の悪化、および海コン業者の収益の悪化につながっている。
- 長期休暇(正月、ゴールデンウィーク、お盆)の前後については、物量が大幅に増加し、コンテナ・トラックの不足による入出庫作業の遅れが発生しており、それにともない残業時間が大幅に増加する。

### 〔万博開催に伴う課題〕

- 万博が開催されることによって懸念される課題は、「渋滞・混雑」が約6割を占める。
- 大規模な交通規制による物流への影響や大阪湾近辺の高速道路などでの渋滞発生が懸念される。
- 万博開催に加えて、統合型リゾート(IR)が設置されることが決まった場合、建設期間が同時期となることも想定されるため、物流に混乱をきたさないよう、関係者が十分に連携・調整する必要がある。
- バスなどの観光車両や開催までの工事関係車両の通行が大幅に増えるため、夢洲コンテナターミナルへのアクセス(橋、トンネル、幹線道路)での渋滞が懸念される。
- 工事関係車両と物流車両との動線を分ける必要がある。
- 現在の渋滞に工事車両や一般客が加わり、更なる渋滞が懸念される。

(2020年3月12日)